



Cloud+認定資格取得者は、堅牢でスケーラブルなクラウドソリューションの管理に精通していることを証明します:

CompTIA Cloud+ CV0-003 とCV0-004 出題範囲の比較

新しいCompTIA Cloud+ (CV0-004) は、クラウドコンピューティングの最新の進歩に対応するために刷新され、高度なクラウドソリューション、セキュリティ、自動化、クラウド管理などの重要な分野に焦点を当てています。Cloud+を取得することで、職務に精通し、潜在的な雇用者の注目を集めるために必要な専門知識を身につけることができます。また、キャリアアップに必要なスキルを持ち、クラウド運用の分野で活躍できることを証明します。

CompTIA Cloud+は、クラウドベースのインフラストラクチャサービスの実装、保守、最適化、トラブルシューティングに必要なスキルが習得できます。

CompTIAのCloud+認定試験は、以下の内容をカバーしています。

- クラウドのアーキテクチャと設計概念を理解している。
- セキュアなクラウド環境を実装し維持管理できる。
- プロビジョニングを適切に行い、クラウドリソースを構成できる。
- オブザーバビリティ、スケーリング、自動化を駆使して、クラウド環境のライフサイクルを通じてオペレーションを管理する。
- デプロイと統合に関して、基本的なDevOpsの概念を理解している。
- クラウド管理に関係する一般的な問題のトラブルシューティングを実施する。



出題範囲の比較

下記の表は、CompTIA Cloud+ CV0-003とCV0-004の出題範囲の比較表です。

| CV0-004 | CV0-003 | MAPPING |
|---|--|---------|
| 1.1 与えられたシナリオに基づいて、適切なクラウドサービスモデルを使用できる。 | 1.1 様々な種類のクラウドモデルを比較検討することができる。 | 項目の更新 |
| 1.2 サービスの可用性に関連する概念を説明できる。 | 1.3 クラウド環境における高可用性とスケーリングの重要性を説明することができる。 | 項目の移動 |
| 1.3 クラウドネットワークの概念を説明できる。 | 2.2 与えられたシナリオに基づいて、クラウド環境内のネットワークを保護することができる。 | 項目の移動 |
| 1.3 クラウドネットワークの概念を説明できる。 | 3.3 与えられたシナリオに基づいて、クラウドネットワークングソリューションをデプロイすることができる。 | 項目の移動 |
| 1.4 ストレージのリソースと技術を比較対照できる。 | 3.2 与えられたシナリオに基づいて、クラウド環境内でストレージをプロビジョニングすることができる。 | 項目の移動 |
| 1.5 クラウドネイティブ設計概念の目的を説明できる。 | N/A | 新しい項目 |
| 1.6 コンテナ型仮想化の概念を比較対照できる。 | 3.1 与えられたシナリオに基づいて、クラウドソリューションの構成要素を統合することができる。 | 項目の移動 |
| 1.7 仮想化の概念を比較対照できる。 | 1.3 クラウド環境における高可用性とスケーリングの重要性を説明することができる。 | 項目の移動 |
| 1.7 仮想化の概念を比較対照できる。 | 3.4 与えられたシナリオに基づいて、デプロイに向けた適切なコンピューティングサイジングを構成することができる。 | 項目の移動 |
| 1.8 クラウドの使用に関するコストの検討事項を要約できる。 | N/A | 新しい項目 |
| 1.9 データベース概念の重要性を説明できる。 | N/A | 新しい項目 |
| 1.10 クラウドリソースを使用して作業負荷を最適化する方法を比較対照できる。 | 4.3 与えられたシナリオに基づいて、クラウド環境を最適化することができる。 | 項目の移動 |
| 1.11 クラウド内で進化を続ける技術を特定できる。 | 1.1 様々な種類のクラウドモデルを比較検討することができる。 | 項目の移動 |
| 2.1 クラウドのデプロイモデルを比較対照できる。 | 1.1 様々な種類のクラウドモデルを比較検討することができる。 | 項目の移動 |
| 2.2 与えられたシナリオに基づいて、適切なデプロイ戦略を実施できる。 | 4.2 与えられたシナリオに基づいて、クラウド環境の効率的な運用を維持することができる。 | 項目の移動 |
| 2.3 クラウドへの移行の各段階を要約できる。 | 3.5 与えられたシナリオに基づいて、クラウドの移行を実施することができる。 | 項目の移動 |
| 2.4 与えられたシナリオに基づいて、クラウドリソースをデプロイし構成するコードを使用できる。 | 3.1 与えられたシナリオに基づいて、クラウドソリューションの構成要素を統合することができる。 | 項目の移動 |

| CV0-004 | CV0-003 | MAPPING |
|---|---|---------|
| 2.4 与えられたシナリオに基づいて、クラウドリソースをデプロイし構成するコードを使用できる。 | 3.2 与えられたシナリオに基づいて、クラウド環境内でストレージをプロビジョニングすることができる。 | 項目の移動 |
| 2.4 与えられたシナリオに基づいて、クラウドリソースをデプロイし構成するコードを使用できる。 | 3.3 与えられたシナリオに基づいて、クラウドネットワークングソリューションをデプロイすることができる。 | 項目の移動 |
| 2.4 与えられたシナリオに基づいて、クラウドリソースをデプロイし構成するコードを使用できる。 | 4.4 与えられたシナリオに基づいて、適切な自動化技術とオーケストレーション技術を適用することができる。 | 項目の移動 |
| 2.5 与えられた一連の要件に基づいて、適切なクラウドリソースをプロビジョニングできる。 | 3.1 与えられたシナリオに基づいて、クラウドソリューションの構成要素を統合することができる。 | 項目の移動 |
| 2.5 与えられた一連の要件に基づいて、適切なクラウドリソースをプロビジョニングできる。 | 3.2 与えられたシナリオに基づいて、クラウド環境内でストレージをプロビジョニングすることができる。 | 項目の移動 |
| 2.5 与えられた一連の要件に基づいて、適切なクラウドリソースをプロビジョニングできる。 | 3.3 与えられたシナリオに基づいて、クラウドネットワークングソリューションをデプロイすることができる。 | 項目の移動 |
| 3.1 与えられたシナリオに基づいて、適切なリソースを構成してオペラビリティを確保できる。 | 4.1 与えられたシナリオに基づいて、ログイン、モニタリング、およびアラートを構成し、稼働状態を維持することができる。 | 項目の移動 |
| 3.2 与えられたシナリオに基づいて、適切なスケーリングアプローチを構成できる。 | 1.3 クラウド環境における高可用性とスケーリングの重要性を説明することができる。 | 項目の更新 |
| 3.2 与えられたシナリオに基づいて、適切なスケーリングアプローチを構成できる。 | 3.1 与えられたシナリオに基づいて、クラウドソリューションの構成要素を統合することができる。 | 項目の移動 |
| 3.2 与えられたシナリオに基づいて、適切なスケーリングアプローチを構成できる。 | 4.3 与えられたシナリオに基づいて、クラウド環境を最適化することができる。 | 項目の移動 |
| 3.2 与えられたシナリオに基づいて、適切なスケーリングアプローチを構成できる。 | 4.4 与えられたシナリオに基づいて、適切な自動化技術とオーケストレーション技術を適用することができる。 | 項目の移動 |
| 3.3 与えられたシナリオに基づいて、適切なバックアップと復旧手段を利用できる。 | 4.5 与えられたシナリオに基づいて、適切なバックアップ作業と復旧作業を実施することができる。 | 項目の移動 |
| 3.4 与えられたシナリオに基づいて、クラウドリソースのライフサイクルを管理できる。 | 4.2 与えられたシナリオに基づいて、クラウド環境の効率的な運用を維持することができる。 | 項目の移動 |
| 4.1 脆弱性管理の概念を説明できる。 | 2.5 与えられたシナリオに基づいて、セキュリティ要件を満たすための対策を実施することができる。 | 項目の移動 |
| 4.2 コンプライアンスと規制の解釈を比較対照できる。 | 2.4 与えられたシナリオに基づいて、クラウド環境内でデータセキュリティ制御とコンプライアンス制御を適用することができる。 | 項目の移動 |
| 4.3 与えられたシナリオに基づいて、認証管理とアクセス管理を実装できる。 | 2.1 与えられたシナリオに基づいて、認証管理とアクセス管理を構成することができる。 | 項目の移動 |

| CV0-004 | CV0-003 | MAPPING |
|--|---|---------|
| 4.4 与えられたシナリオに基づいて、セキュリティのベストプラクティスを適用できる。 | 2.2 与えられたシナリオに基づいて、クラウド環境内のネットワークを保護することができる。 | 項目の移動 |
| 4.4 与えられたシナリオに基づいて、セキュリティのベストプラクティスを適用できる。 | 2.3 与えられたシナリオに基づいて、OSとアプリケーションの適切なセキュリティ制御を適用することができる。 | 項目の移動 |
| 4.4 与えられたシナリオに基づいて、セキュリティのベストプラクティスを適用できる。 | 2.4 与えられたシナリオに基づいて、クラウド環境内でデータセキュリティ制御とコンプライアンス制御を適用することができる。 | 項目の移動 |
| 4.5 与えられたシナリオに基づいて、クラウドにセキュリティ管理を適用できる。 | 2.2 与えられたシナリオに基づいて、クラウド環境内のネットワークを保護することができる。 | 項目の移動 |
| 4.5 与えられたシナリオに基づいて、クラウドにセキュリティ管理を適用できる。 | 2.4 与えられたシナリオに基づいて、クラウド環境内でデータセキュリティ制御とコンプライアンス制御を適用することができる。 | 項目の移動 |
| 4.5 与えられたシナリオに基づいて、クラウドにセキュリティ管理を適用できる。 | 2.5 与えられたシナリオに基づいて、セキュリティ要件を満たすための対策を実施することができる | 項目の移動 |
| 4.6 与えられたシナリオに基づいて、疑わしいアクティビティをモニタリングして一般的な攻撃を識別できる。 | 2.2 与えられたシナリオに基づいて、クラウド環境内のネットワークを保護することができる。 | 項目の移動 |
| 4.6 与えられたシナリオに基づいて、疑わしいアクティビティをモニタリングして一般的な攻撃を識別できる。 | 2.5 与えられたシナリオに基づいて、セキュリティ要件を満たすための対策を実施することができる | 項目の移動 |
| 4.6 与えられたシナリオに基づいて、疑わしいアクティビティをモニタリングして一般的な攻撃を識別できる。 | 4.1 与えられたシナリオに基づいて、ロギング、モニタリング、およびアラートを構成し、稼働状態を維持することができる。 | 項目の移動 |
| 5.1 ソース管理の概念を説明できる。 | N/A | 新しい項目 |
| 5.2 Continuous Integration/Continuous Deployment (CI/CD：継続的インテグレーション/継続的デプロイメント) パイプラインに関する概念を説明できる。 | 4.4 与えられたシナリオに基づいて、適切な自動化技術とオーケストレーション技術を適用することができる。 | 項目の移動 |
| 5.3 システムの統合に関連する概念を説明できる。 | N/A | 新しい項目 |
| 5.4 DevOps環境で使用するツールの重要性について説明できる。 | N/A | 新しい項目 |
| 6.1 与えられたシナリオに基づいて、展開の問題をトラブルシューティングすることができる。 | 5.3 与えられたシナリオに基づいて、デプロイの問題をトラブルシューティングすることができる。 | 項目の移動 |
| 6.2 与えられたシナリオに基づいて、ネットワークの問題をトラブルシューティングすることができる。 | 5.4 与えられたシナリオに基づいて、接続性の問題をトラブルシューティングすることができる。 | 項目の移動 |
| 6.3 与えられたシナリオに基づいて、セキュリティの問題をトラブルシューティングすることができる。 | 5.2 与えられたシナリオに基づいて、セキュリティの問題をトラブルシューティングすることができる。 | 項目の移動 |